

# 「振り返りアンケート作成」



県立生涯学習センター  
平成27年9月25日(金)

- 振り返りアンケートの活用方法とは？
- どのような効果が期待できるでしょうか？

# 「振り返りアンケート」の問題点

- アンケートの回収率の低さ
- コメント(自由記述の少なさ)
- アンケートに対する学習者の理解、記述力の差異が反映しやすい(答えにくさがある)
  - \* 項目としては3~5コが限度
  - \* 記述式より選択式が答えやすい
  - \* すべての年齢層に紙面によるアンケート方式は適用できない(高齢者・子ども)

# 評価の方法

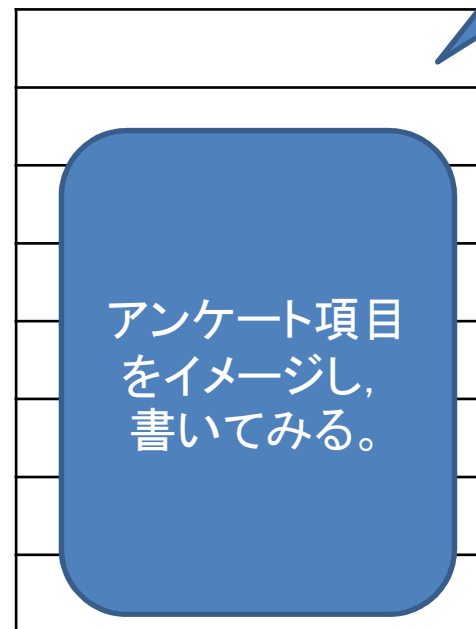
- ①「振り返りアンケート」の結果
- ②学習参加の実態の情報収集
- ③感想文
- ④一部の受講者への聞き取り
- ⑤学習活動の観察から情報収集
- ⑥会場での発言、質問、拍手、挙手などの反応
- ⑦学習成果物（ワークシートや作品）
- ⑧学習活動の記録

## ワーク「振り返りアンケート」を考える

- 項目数は**5つ**以下
- 学習目標の到達度を測る項目は必ず1つ
- 事業改善や今後の学習プログラム開発の参考となるような項目も必ず1つ
- 自由記述欄を設ける場合は書いてもらえるよう工夫しましょう！
- 選択肢のあるものがよい
- アンケート用紙を用いず、直接聞き取るなどの方法でもよいですが、どんな内容を聞くのか具体的に計画しましょう。

# 作成手順

A4用紙を縦に置き、  
次のように折り目をつけてください。  
(半分の半分の半分)



計画のどの部分における振り返りアンケートであるか。

アンケート項目  
をイメージし、  
書いてみる。

# 学習目標の到達度(例:学習プログラムでは)

## 学習者の目標の到達度をはかる

### ①知らないことを知るようになるもの(知識・理解)

例)・理解できたかどうかその場で聞く、チェックリスト  
の活用など

### ②技能, 実技を伴うもの(技能・表現力)

例)・成果物、発表内容の活用  
・活用の方法や場面を尋ねる

### ③意識を変えるもの(関心・意欲・態度)

例)・意見交流や発表の内容を記録  
・自由に記述してもらえようようにうまくリード

でも…  
聞きにくい!

③が大事!

## その他今後に繋がる成果 (中長期的な見通しの中での成果)

この事業の次の展開を考え、必要な情報

(視点)

- ・学習目的に繋がるような成果

(人的あるいは情報ネットワークの形成はないか?)

- ・次の学習プログラム立案のヒントとなるような情報

- ・リピーター(継続的な学習参加者)となってもらうためのニーズ調査



# まとめ

- 「振り返りアンケート」について理解する。
  - \* 学習者の学習支援となる「振り返りアンケート」
  - \* 実態把握、目標達成度、次の学習につながる成果の確認（次の学習計画の参考になる情報）
  - \* 「振り返りアンケート」に頼りすぎないために、必要な成果を自分たちで収集する**評価計画作成の重要性**

# 参考資料

---

平成24年度尾道市公民館職員等キャリアアップ研修会資料

平成25年度竹原市立公民館職員研修会資料

平成26・27年度学習プログラム研修第3回研修資料